

「コロナショックから始まる変容のプロセス」

—これから何が起ころうとしているのか—

特別公開 本書「はじめに」

徳間書店

2020年5月29日発売

はせくらみゆき著



<https://amzn.to/2WTManz>

はじめに

今、世界は大激変中です。昨日までの当たり前が当たり前ではなくなり、外出もままならず、親兄弟に会いにくくのもはばかりの日々となっています。

また、自由に行き来出来ていた国々との間も、今はどんどん封鎖され、あっというまに、グローバリズムから国単位のナショナリズムへ、といった世界へと変容を遂げています。

ニュースをみれば、新型コロナウイルス関連の話題ばかり。毎日更新される感染者の数を見るたびに、気持ちが揺さぶられることでしょう。

こうして突然始まりを告げた、世界規模の変容を、どのように捉え、どう向かい合っていっていったらよいのでしょうか？

この本は、そんな問いに答えていく、現在進行形・変容のプロセスとその意図について一気に書き下ろしたものです。

もちろん、一人ひとりにとっての真実と世界がありますので、この本の中に表されている内容を信じてほしいとか、そうあるべきだと主張しているわけではありませんし、とりわけ直観情報をエビデンスをもって証明せよといわれても、なかなか難しいものがあります。

それでもなぜ、今、この本を緊急出版しようと思ったかということ、私たち人類が共有している意識の深奥部—超意識が、個我と言われる私たち一人ひとりの顕在意識に、メッセージを送りたいと願っていることを感得したからです。

実は、日本では緊急事態宣言が施行された2020年4月第二週目より、集合意識の波が大きく変わりました。

それぞれが心の奥で思っていること、感じていることの集合体である「集合意識」は、現象化をもたらす重要な鍵ともいえるため、注視しておく必要があるのですが、その波がさらにうねりを大きくしながら、大変革の時代に向かって流れていくのを感じておりました。

また、それらの意識の波は GW 下に発表された、緊急事態宣言の延長によって、より密度を増した現実(より深刻化しやすい現実)が現象化しやすくなっている昨今となっています。

書かれている内容のソースは、瞑想を通して得た「直観」情報をもとに、データや人脈、書籍、研究者の知見など鑑みながら、再度考察し、またそれを瞑想を通して識別していく・・・といったプロセスを経て著わしているものです。

現在は、確かに、健康不安から経済不安、将来の不安に至るまで、精神的にはきつく、大変な時期でもあります。けれども、この「大変」という漢字をじっと眺めていると、「大きく変わる」と読み替えることができることに気づきました。

まさしく今、がその時。

大きく変わっていく時だからこそ、大変である。けれどもそれは、産みの苦しみでもあり、これらの流れを乗り越えた先にあるものは、きっと素晴らしき未来へと繋がっているはずです。

なぜなら、私たちの内には、それらを超えていくだけの内在の力が、すでにセットされているからです。

すべては時満ちて、表れているのだと思っています。

だから、大丈夫。すべてはきっと、うまくいく。

一步、一步、自らの内なる灯りを頼りに、進む旅。

旅の終わりには、皆で朗らかに、大笑いしようね!

本書が、そんな時代を航海していくあなたという仲間と共に、先へと進む勇気と希望、そして情報を分かち合えたらと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

それではさっそく始めることと致しましょう。